

6年生着衣泳

プール指導も終わったので、着衣泳が行われました。最近では、子供の命に係わる水の事故が多くなっています。川や池に子どもが落ちた時に、衣服や靴があるととても歩きにくい、泳ぎにくいことを体験し、どうしたら助かるかを考えさせました。



また周りで見ている子が助けようと、飛び込んで一緒に溺れることがあります。溺れかけた人は、子どもでもすごい力ですがみつくので、大人でも泳げなくなり、一緒に溺れることがあるのです。

水の中に落ちた時に、慌てず、服を膨らませて、体力を消耗させずに浮くことを考え、周りの人は、浮きやすいものを見つけて、持たせてあげること、助けを呼ぶことが大切と学ぶことができました。



写真は、服に空気を入れて膨らませたり、ペットボトルを投げて、浮かばせたりすることで、水の上に浮かせる時間を増やし、救助の人を待って助ける練習をしている様子です。



水遊びは、夏に欠かせない楽しいものですが、同時に付き合い方を間違えると命にかかわることにもなりかねません。ご家庭でも遊び方についてご指導どうぞよろしくお願い致します。